

とりビジョン達成の実行策

平成26年1月21日

ビジョン達成のプロセス(具体的取組)		実施計画内容					
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
I 個人の能力向上 一人ひとりの能力向上のために必要なこと	①職位段階に応じた体系的・計画的な研修体制を整備する。 (役割に応じた能力の向上と業務に関する知識の習得)		必要な能力の向上のための研修体系の作成	○研修体系の実践・見直し 研修テキストの選定・作成			
	②効果的かつ確実に研修を受講する。		○研修履歴カードの活用	研修履歴カード見直し・新カード作成	○初任者研修の実践		
II 行動・実践・貢献 行動・実践し、各学校で貢献するために必要なこと	①課題の解決に向けた実践的取組を展開する。	○5年間の実践テーマの提案	テーマに沿った実践的取組方法の提案・推進				
	②実践と情報の共有化を行う。	○H26年度の実践発表の設定	○実践発表の設定(県大会・研修会等の企画・運営) ○とりびゅうねっとの活用				
III 組織的な仕組みづくり・基盤整備 組織的な課題解決の仕組みづくりに必要なこと	①事務職員の役割・位置づけの明確化を検討する。		事務部門の位置づけ・校務分掌案の検討・作成	○事務部門の位置づけについて働きかけ		学校管理規則の見直し案 検討・作成	
	②業務削減、平準化、効率化に取り組む。		県教委等との連携組織「プロジェクトチーム」による業務改善の取組				
	③行動マップ、共同実施ガイドの改訂、支援ツールを作成し、活用する。			共同実施ガイドの改訂	行動マップの改訂		
	④知事部局等からの転入者、新規採用者を支援する体制をつくる。			○初任者等への支援体制の検討・整備			
	⑤PDCAを実施し、次年度の計画を立てる。	各事業の実施評価指標づくり	振り返り・検証、次年度の実行策を更新				